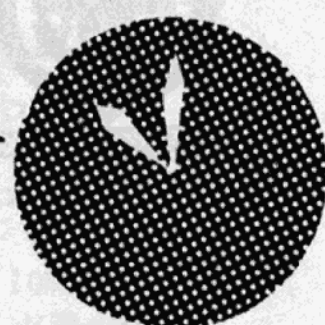
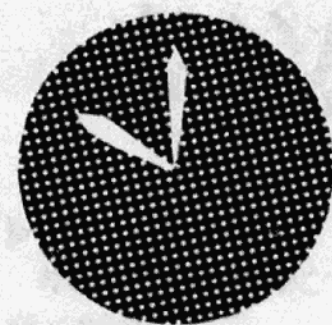


夜の10時は消防の時間

もういちど火の元確認を



寒さがだんだんきびしくなるにしたがい、本格的な火災シーズンがやってきました。すでに全国各地で尊い人命や、たいせつな財産を失なっている大きな火災が相次いで発生しています。

とくに、ことしは近年にまれな異常乾燥が続いていますので、このようなときは火災がおきやすく、ひとたび火災がおきますと大火になる危険があります。

そこで、一年のうちで火災がもっとも多い十二月から三月にかけての火災シーズンにそなえて、皆さん方の心の準備ができていくかどうか。また、火災とはこんな恐ろしいものだということをいっしょに考え、火災予防に対する認識を深めたいと思います。

さあ！火災シーズン

火の取り扱いに万全を

昨年一年間に全国で発生した火災は四万八、〇〇〇件にも達しています。一瞬のうちに四九〇億円が灰になり、九、一三二人が死んだり負傷したりしているという、ひじょうに悲惨な災害がおこっています。

市内のことし一月から十一月までの火災の発生状況をみますと、三六件発生し、損害額一、四一〇万円、建物焼失面積が一、六七二平方メートルにおよんでいます。これらはいずれも昨年より上回っており、火災の原因をみますと、ちょっとした不注意と火の不始末によるものが大部分を占めています。

も乾燥してきますので、火の元の点検、確認は十分にしてください。ただきたいものです。

そこで、市民総ぐるみでつきのことし注意して、一瞬のうちに灰にしてしまう恐ろしい火災から、私たちの家や生命を守るうではありませんか。

タバコは

きめられた所で

- ・異常気象時は屋外でタバコを吸わない。
- ・寝タバコはしない。
- ・火のついたタバコを机などの上におかない。
- ・禁煙指定場所でタバコを吸わない。

プロパンガスを

正しく使いまししょう

- ・ボンベは直射日光にあたらさない。

い風通しのよい屋外におく。

・ボンベから屋内への配管は金属管にする。

・室内のゴム管は良質のものを
用いビニール管は使用しない
・ゴム管はいたみやすいので早
目に取り替える。

・ボンベの安全弁や調整器にさ
わらない。

・使ったあとは必ず元栓をしめ
る。寝るまえにもういちど確
認する。

・点火のときはマッチをつけて
からコックをあける。

石油器具を正しく

使いまししょう

- ・給油は完全に火を消してから
行ない油もれをよくふきとっ
ておく。
- ・燃えやすい物の近くでは使わ
ない。

・火のついたまま持ち運びをし
ない。

・使用後は完全に消えたかどうか
をたしかめる。
・ときどき手入れ（掃除）点け
んをする。

・こわれているものは完全に修
理してから使用する。

子どもの火遊びは

やめさせましよう

- ・子どもだけの、たき火はさせ
ない。
- ・マッチ、ライター、ローソク
などは幼児の手の届かない場
所におく。

・たき火は

とくに注意して

- ・燃えやすい物や引火性（ガソ
リンなど）の近くでしない。
- ・消火用水を準備するほか、そ
の場を離れない。
- ・火災警報発令中は、火災予防
条例の火の使用の制限にした
がう。

・あと始末には水か土をかぶせ
て残り火がないようにする。
・私たちの財産・生命を災害か
ら救ってくれる市消防隊の放
水けん

